



もっといきいき！

躍進計画 35

市民の健康づくり

- ふれあい館「もくせい」をリニューアル！世代間交流のさらなる輪を広げます。
- 高齢者の安心した地域生活に向けて、「高齢者あんしん相談センター」を館地区に開設します。
- 町内会館を活用した「コミュニティふれあいサロン」設立を支援し、地域の元気、絆を創ります。
- 民間施設を活用した体力づくり、生きがいつくりの場をオープンし、みんなの元気につなげます。
- 負担軽減！介護保険料を県内・近隣市で低い水準に設定します。
- 「地域密着型特別養護老人ホーム」の施設整備や定期巡回・随時対応型訪問介護看護など、新たな地域密着型の介護サービスを提供します。
- 県内初！自己採取によるHPV検査（子宮頸がん）を実施し、早期発見、早期治療につなげます。
- 健康事業に、新たに「アウトドアヨガ」を取り入れ、働く世代の健康づくりを展開します。



もっとすくすく！

躍進計画 35

子育て世代定住

- しきっ子が、ふれあい、学び合う場所として志木地区に「児童センター」を整備します。
- 一貫した教育課程ときめ細かな指導に向けて「小中一貫教育」を推進し、小学校の外国語や理科、算数の授業に、「教科担任制」を導入します。
- 民間教育事業者と連携した複数・少人数指導体制 ～スマート・クラス～ を発展させ、学級を分割しながらより少人数で学習状況に応じた指導を展開します。
- 民間スポーツクラブでの水泳授業を全小中学校に拡大し、運動能力の向上につなげます。
- 「足部機能・骨格発達支援事業」を全小中学校に拡大し、健全な身体の形成と体力向上へとつなげます。
- 保育の定員を1,819人にまで拡大し、待機児童の解消を進めるとともに、志木市初！「病児保育事業」を実施します。
- 気軽に利用できる新たな一時預かり保育事業を実施し、保護者の育児をサポートします。
- 児童虐待に対する相談体制を強化！虐待対応専門員を配置し、家庭を支援する拠点を整備します。



もっとあんしん！

躍進計画 35

暮らしやすさ向上

- 耐震性能が不足している市民会館と市民体育館を、市民会館用地に複合化し、スポーツと文化の拠点として整備します。
- 計画的に、根上がりによる段差の解消や視覚障害者誘導用ブロックの設置など、歩道のバリアフリー化を推進します。
- 犯罪のない志木市を目指して！「防犯カメラ設置事業」を拡大します。
- 85歳以上の方で構成される世帯に、「家庭ごみ戸別訪問収集事業」を実施します。
- 堤防越水による大規模な浸水被害の抑制に向けて、荒川本川羽根倉橋右岸堤防、荒川第二・三調節池の着実な整備を働きかけます。
- 館地域の浸水被害の抑制に向けて、県事業柳瀬川流域「水谷調節池」の早期完成を働きかけます。
- 決壊防止に向け、県との連携による柳瀬川流域堤防の点検・監視の強化を図ります。
- 「移動しやすいまち」を目指して、新たな志木市らしい交通手段の検証を進めます。



もっとわくわく！

躍進計画 35

魅力発信

- カフェやウォーターパークの設置など、民間活力による再整備を実施し、「いろは親水公園」の魅力向上を図ります。
- 「まちの顔」ともいふべき中心市街地の都市機能の増進と経済活力の向上を図ります。
- 市制施行50周年記念事業実行委員会からの提言をもとに、後世に残る“志木市の目玉”となるイベントを創出します。
- 観光協会とのタイアップにより、志木駅東口ベデストリアンデッキを活用した駅前の賑わいつくりや、地域資源を活かした新たな取り組みを展開します。
- コロナ禍で断念した「花火大会」を開催！みんなの笑顔と元気につなげます。



イメージ写真

新しい生活様式を見据えて！

躍進計画 35

市役所改革 & コロナ対策

- 「新型コロナウイルス感染症ワクチン接種」について、インターネット予約代行窓口を開設し、迅速・的確なワクチン接種を実施します。
- マスクや非接触型体温計の購入における補助制度を創設し、コロナに負けない市民活動を応援します。
- 消毒薬、マスクなどの衛生用品やパーティション、テント型のプライベートルームなど備蓄を進め、避難所の感染症対策を強化します。
- スマートフォン、パソコン、マイナンバーカード、クレジットカードで、各種証明書の申請・決済ができる「スマート申請」を拡大するとともに、スマートフォンから水道料金や下水道料金、市税の納入を可能にします。
- 窓口での相談業務にオンライン相談を導入し、「市役所：窓口に行かなくていい」仕組みづくりを進めます。
- 利便性向上！志木駅前のテナントを活用し、休日に各種申請窓口サービスを展開します。

